

令和7年度 就学相談に関する幼稚園・保育所(園)資料(質問紙)

園 長 様
所 長 様

お 願 い

この質問紙は、就学相談の申込みがありました幼児の園(所)での様子を踏まえて、円滑な就学相談につなげるために必要な資料です。締切日までに、電子申請システムにて必要事項を入力の上でこのファイルを添付して申請してください。

なお、作成に当たっては、保護者とも十分に話し合ってください。また、本質問紙は保護者の希望があれば提示します。

※ 締め切り(6月30日月曜日)必着のため、余裕をもって保護者への説明、実施要項の配付、園(所)での面談等を行ってください。

保護者面談を行う際には、次の4点について、必ず確認してください。

- ☐ 保護者が就学相談を希望している。
- ☐ 「就学相談」について保護者に説明している。
- ☐ 特別支援学級や特別支援学校について説明している。
- ☐ 本人・保護者の意向を確認している。

※ 複数の申込み者がいる場合、資料の作成ができた方から随時、申請してください。

※ 保護者、園(所)の両方の申請を確認でき次第、申込み受付完了です。

※ 記載内容については、保護者の了解に基づき、就学先に提供します。

※ 相談日や会場等については、別途お知らせします。

北九州市立特別支援教育相談センター

〒802-0803 北九州市小倉南区春ヶ丘10番2号

電話(093)921-2230

FAX(093)923-3010

黄色のセルに質問事項をお答えください

水色のセルはプルダウンになっています。

幼児氏名

北九 花子

生年月日

平成〇年〇月〇日

氏名(フリガナ)

キタキュウ ハナコ

組

〇〇組

在籍園(所)名

〇〇〇園

園(所)
電話番号

〇〇〇-〇〇〇〇

記入日

令和〇年〇月〇日

園(所)長氏名

〇〇 〇〇〇

〔担任等の記入欄〕 ※ 該当幼児の様子の方が記入してください。

(幼・保-2)

幼児氏名 北九 花子

記入者氏名 ○○ ○○

()

①教育・保育・療育歴	在籍園(所)名	期間	特記事項
	○○○園	RO年〇月～	

②園(所)での生活の様子について(当てはまるアルファベットを選択してください)

※ できること・得意なこと、できないこと・苦手なことを中心に記入してください。

※ 効果的な指導・支援につながるポイントや卒園時までの目標があれば記入してください。

a. 支援の必要なし b. 声かけ等の配慮が必要 c. 介助等の個別の支援が必要

● 生活		〈具体的な様子〉
ア 移動(歩行・安全面)	b	・教室移動の際には、一斉に指示した後に個別に声かけをしている。 ・交通ルールの理解が難しく、園外に出るときには、大人と手をつないで移動するようにしている。
イ 食事 ※偏食、アレルギー等がある場合は必ず記入	c	・食事の際は、矯正の箸を使用している。 ・食べこぼしがあり、個別の声かけが必要である。 ・アレルギー(卵)があり、給食は除去食を食べている。
ウ 排泄	b	・尿意、便意を感じると自分でトイレに行き、排泄することができる。 ・便のふき取りは練習中であり、排便後の大人の確認が必要である。
エ 衣服の着脱	b	・大きなボタンの留め外しはできるが、小さなボタンの留め外しは練習中である。 ・脱いだ衣服をその場に置いたままにするため、個別の声かけや視覚支援が必要である。
オ 持ち物の整理	a	
● コミュニケーション		〈具体的な様子〉
ア 聞くこと(理解)	c	・端的な指示や話は聞くことができるが、集中が切れやすく、話を聞いていないことがあるため、個別の声かけや視覚支援が必要である。
イ 話すこと(表出)	b	・2語文で自分の気持ちを伝えることができる。
● 対人関係		〈具体的な様子〉
ア 教員	b	・慣れた教員との関わりが好きであり、自分から積極的に関わることができるが、身体接触が多いため、個別の声かけが必要である。
イ 友達	b	・おもちゃの貸し借りが難しく、大人の仲介が必要である。 ・自分の興味のある遊びをしている友達には積極的に関わることができる。

幼児氏名 北九 花子

記入者氏名 ○○ ○○

● 集団参加		〈具体的な様子〉	
ア 指示の理解（一斉・個別）	b	・一斉指示を理解して行動することが難しく、個別の支援が必要である。日常的な指示（「トイレに行きます。」など）は理解することができる。	
イ 集団活動への参加	b	・大きな集団が苦手なため、集団活動に参加できないことがある。 ・小集団の活動には大人と一緒に参加することができる。	
ウ 約束・ルールを理解	b	・複雑なルールの理解は難しいが、単純なルールの理解はできる。	
● 理解		〈具体的な様子〉	
ア 文字や数の理解	b	・自分の名前の平仮名を読むことができる。 ・1から10までの数字を読むことができる。	
● 行動特性		〈具体的な様子〉	
ア 得意なこと	a	・電車に興味があり、電車の名前を覚えることが得意である。	
イ 苦手なこと	b	・苦手な活動や興味のない活動への参加が難しいことがある。 ・大きな音が苦手であり、耳をふさぎ落ち着かなくなることがある。	
ウ 気になる行動	b	・こだわりが強く、お気に入りのおもちゃや本を友達に貸すことが難しい。	
● 健康面			
有・無く当てはまるものを選択してください		〈服薬・様子・症状・対応等〉	
ア 発作	有	・てんかんがあるが、服薬でコントロールができており、年少の頃から発作は起きていない。	
イ アレルギー	有	卵、犬、猫のアレルギーがある。	
ウ 医療的ケア ※医療的ケアとは、右の「実施内容」に示されているように、『日常的に継続的に行われる医行為』を指し、病気療養のための入院や通院で行われる医行為は含まれません。	実施内容	()	
	実施者	()	
	実施頻度		
	実施場所		
● 登園状況		〈具体的な様子〉	
特記事項なし			
● 配慮事項 ※指導上、特に配慮されている事柄についてご記入ください。			
・アレルギーがあるため、給食や動物との接触のある活動などについては、保護者との丁寧な連携、説明が必要である。			

〔園（所）長の記入欄〕

幼児氏名

北九 花子

園（所）長氏名

〇〇 〇〇〇

③個別の教育支援計画	ある								
④就学希望先の見学	見学した								
実施した学校名	〇〇学校								
⑤保護者の特別支援学級新設希望	無		新設希望校						
⑥保護者の意見 ※現時点で希望する保護者の意向を確認の上記入してください。 ・保護者は、入園時から地域の小学校の知的障害特別支援学級を希望していた。担任が個人懇談等で本人の実態を丁寧に伝えてきたことで、本人の不安に寄り添い、より丁寧な指導が必要であることを理解し、知的障害特別支援学級への入学を希望するとのことであった。保護者は、就学相談で、本人の実態に合った学校を相談したいとのことであった。									
⑦園（所）長の意見 ※園（所）内で協議した、当該幼児にとって必要な支援内容や望ましい就学先について○を付けてください。									
通常の学級									
特別支援学級	知的障害	○	自閉症・情緒障害		難聴		病弱・身体虚弱		
市立特別支援学校	知的障害		肢体不自由		病弱				
県立特別支援学校	視覚障害		聴覚障害						
※園（所）内で協議した、当該幼児にとって必要な支援内容や望ましい就学先について、理由を書かれてください。									
・本児は見通しを持つことができたり、少人数という環境調整があったりすれば、落ち着いて日常生活をおくることができる。園では、本児が安心して日常生活を送ることができるようにするために、本児の様子に応じて、個別の声かけや支援を行っている。 ・本児は、令和〇年に療育手帳B2を取得しており、保護者も本児の実態についてはよく理解している。 ・就学相談に向けた保護者との面談は、担任、園長、主任と実施した。本児の能力や実態にあった丁寧な支援、指導が必要なことを保護者に伝えた。また、小学校の特別支援学級の見学に担任が同行することを提案している。面談の最後に、保護者の意向を確認すると、保護者は本児の実態に応じた就学先を就学相談の中で相談したいとのことであった。 ・以上のことから、園としては、本児の実態に応じた指導を受け、教科学習の交流及び共同学習においては無理なく参加できるものを選び、充実した小学校生活を送ることができるよう、小学校では知的障害特別支援学級に在籍することが望ましいと考える。									
⑧保護者との面談の状況をお知らせください。 保護者との面談（意向確認）日： 令和 〇 年 〇 月 〇 日 A、B、Cのいずれかに○を付けてください。									
○	A 就学場について、園（所）の意見と保護者の意向が一致している。								
	B 就学場について、一定の共通認識があるが、方向付けは不十分である。								
	C 就学場について、園（所）の意見と保護者の意向に隔たりがある。								